ひと ひと
女と男の情報紙

HIMAWARI
Women & Men Information

ひまわり

Vol.29
2020.3.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて

配偶者や恋人（パートナー）等から暴力（ドメスティック バイオレンス）（ＤＶ）はありませんか？



グラフィックアート「ひまわりとリス」～種は美味しいな～
柴生田　潔さん（船木台）の作品

第14回 熊谷市男女共同参画推進表彰

昨年11月に開催した「第40回フォーラムくまがや2019」において、男女共同参画の推進に貢献する取組が評価され、二つの事業所が表彰されました。

本表彰は、熊谷市男女共同参画推進条例に基づき、平成18年度から実施しており、男女共同参画社会の実現に向け、積極的に男女共同参画の推進に関する取組を実施している市民及び事業者を表彰するものです。

（順不同）

医療法人社団紘智会（こうちかい）　籠原病院

女性の採用、人材育成、管理職への登用を積極的に推進し、多くの女性職員が指導的な役割に従事しています。

新棟を今年2月25日にオープンし、今まで以上に地域に密着した病院を目指すとともに、埼玉県の「多様な働き方実践企業」認定制度のゴールド認定を受けるなど、女性が自分に合った働き方ができる職場環境づくりを推進しています。



富士通フロンテック株式会社 熊谷サービスソリューションセンター

最先端の情報通信技術で豊かな社会の実現への貢献を理念とし、性別にとらわれない適正配置を推進するとともに、フレックス勤務の全社員適用、テレワーク制度の導入等、家庭生活と社会生活の両立に向けた柔軟な働き方を推進しています。

人材の多様性、個々の職員の視点、能力を活かし、モチベーションアップにつながる職場づくりに取り組んでいます。



第15回 さいたま輝き荻野吟子賞 田部井建設 株式会社

女性の技術職を積極的に採用・配置しているほか、社員が通院、介護、保育園・学校行事への参加などをしやすくするため、半日単位、時間単位の有給休暇取得を促進し、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

これらの取組が高く評価され、「いきいき職場部門」での受賞となりました。



特集

配偶者や恋人（パートナー）等から暴力（DV）はありませんか？

ドメスティック バイオレンス

約４人に１人が配偶者から暴力を受けたことがあります。（内閣府男女共同参画局 平成29年調査）

女性の約３人に１人、男性の約５人に１人は、配偶者間で被害を受けたことがあり、女性の約７人に１人は何度も受けています。DVは、相手を支配するための一方的な暴力であり、対等な立場での夫婦げんかなどとは性質が異なります。

これらは全てDVです!

身体的暴力



なぐる・ける・髪の毛をひっぱる
首をしめる・引きずりまわす
物にあたる・物を投げつける
凶器などをみせる、突きつけるなど

精神的暴力



大声でどなる・無視する
実家や友人との付き合いを制限する
スマホ・スケジュールを管理する
ののしる・バカにするなど

経済的暴力



生活費を入れない・働かない
自由なお金を認めない
借金をつくる・強制する
お金の使い方に文句ばかり言うなど

性的暴力



嫌がっても性行為を強要する
動画を撮る・無理やり映像を見せる
避妊に協力しない
中絶させる・望まない多産など

ツライと思うことは暴力です!

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか?

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力（ＤＶ）に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。

どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。

電話相談は、匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

◆ハートピア相談室 ☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第１・第３土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月１回（奇数月）	10:10～11:40
臨床心理士による相談（要予約）	毎月１回（第４金曜日）（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月２回（第２・第３水曜日）（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも無料・秘密厳守）

DVに気づいたら



あなたの周囲に暴力はありませんか？
本人がDVと気づいていないことがあります。
助けを求められる状態ではないかもしれません。
相手の話を否定せず、じっくり聞き、相談機関へつなげましょう。

ドメスティック・バイオレンス（DV）相談機関のお知らせ

相談機関名	受付日	相談時間等	電話番号
熊谷市配偶者暴力相談支援センター「ハートピア」相談室	月～金曜日 第１・第３土曜日	9:00～17:15（祝日・休日・年末年始を除く）	048-599-0015
埼玉県配偶者暴力相談支援センター（埼玉県婦人相談センター）	月～土曜日	9:30～20:30（年末年始を除く）	048-863-6060
	日曜・祝日	9:30～17:00（年末年始を除く）	
埼玉県配偶者暴力相談支援センター（埼玉県男女共同参画推進センターWith Youさいたま）	月～土曜日	10:00～20:30（祝日・休日・第3木・年末年始・臨時休館日を除く）	048-600-3800
埼玉県警察本部 犯罪被害者支援室	月～金曜日	8:30～17:15（祝日・休日・年末年始を除く）	0120-381858
（公社）埼玉犯罪被害者援助センター	月～金曜日	8:30～17:00（祝日・休日・年末年始を除く）	048-526-7830
警察相談専用電話	（随　時）		＃9110
熊谷警察署生活安全課	月～金曜日	8:30～17:15（祝日・休日・年末年始を除く）	048-526-0110

子どもの見ている前での暴力は虐待です



面前ＤＶは、子どもに深刻な被害を与えます。
心的外傷（トラウマ）として残り、心の発達に影響します。
「親の暴力は自分が原因である」と誤って捉え、無力感や罪悪感を持ってしまいます。自己評価が低くなり、対人関係がうまく築けなくなったり、感情のコントロールがうまくいかなかったりします。
また、暴力で解決することを学び、問題行動や反社会的行動に繋がりやすくなります。将来、ＤＶ加害者、被害者となってしまうおそれがぐっと高くなります。
ＤＶのある家庭の大半で、子どもが何らかの虐待を受けてます。



パープルリボンとは・・・
「女性に対する暴力根絶」のシンボルマーク



オレンジリボンとは・・・
「児童虐待防止」のシンボルマーク



ダブル(W)リボンとは・・・・
11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動期間」、11月は「児童虐待防止推進月間」のため、DV対応と児童虐待対応との連携強化の象徴として作成した、パープルリボンとオレンジリボンを組み合わせたシンボルマーク

輝いてます！

街で出会ったいきいきさんをご紹介します

「ハーモニーに心を乗せて」



ゴスペルサークル「ヘブンズゲート」
代表 髙田 恵さん（末広）

クリスチャンのご両親のもとに生まれ、幼少期から毎週教会に通っていた髙田さん。身近に宗教音楽があり、聖歌隊が奏でる美しいハーモニーにつつまれて育ちました。耳で賛美歌を覚え、メロディを聴くと、いわゆる「ハモり」が自然とできるようになっていたそうです。

8年前、牧師として熊谷にやってきた髙田さんは、ゴスペルサークルを立ち上げます。現在は13人のメンバーで活動中です。

ゴスペルは、黒人の方がキリスト教の教会で歌うブラックゴスペルが有名です。現在は、ジャズやポップス、ロックなど、様々な音楽と結びつき、音楽のジャンルの一つとなっています。

現代的にアレンジされた曲もたくさんあり、ヘブンズゲートでは、歌詞を重視して選曲。自分たちの声を活かしたハーモニーを楽しんでいます。髙田さんにとっては、メンバーそれぞれの声質に合ったパートを作るのも楽しい作業です。「アカペラでメンバーの声がきれいに重なった時はたまらないです」と、笑顔。イベントや施設での慰問に向けて練習に励んでいます。

昨年は、ラグビーワールドカップのために結成された、「熊谷ラグビー合唱団」にメンバーと共に参加。小学校やファンゾーンで各国国歌の歌唱指導でも活躍されました。

歌の持つパワー、皆で歌うことの楽しさを改めて感じたという髙田さん。「ゴスペルとダンス、劇などを組み合わせたパフォーマンスなどもできたら素敵だな」と、夢が広がっています。



施設への訪問の様子

ラグビーワールドカップボランティアに参加して

「4年に一度じゃない。一生に一度だ！」の横断幕が熊谷駅や星川沿いに掲げられると共に、色々なメディアにおいても日増しに熊谷市開催のラグビーが取り上げられる中、ボランティアの一員として、責任の重大さを感じてきました。ルールもわからず、英語も満足に喋れない状態でしたが、活動を通し、ボランティア仲間から、LINEグループへの招待、居酒屋での情報交換も不安を打ち消すものでした。また、熊谷ラグビー場で行われた、パブリックビューイングへの参加では、一万人を超える皆さんと一緒に、日本勝利の喜びと感動を分かち合い、まさに「一生に一度」の貴重な体験をさせていただきました。

その後、「スクマム！クマガヤ」として、SNS等を通し、多くの人に発信されていることを嬉しく思います。

（ひまわり編集員　冨田　桂治）



◆「ひまわり」編集員公募のお知らせ

本紙「女(ひと)と男(ひと)の情報紙ひまわり」の編集員を募集します。

募集人員　1人

応募資格　市内在住の20歳以上の方で、男女共同参画に関心があり、左記の活動ができる方

活動内容　①編集員会議(毎号3回・平日)　②取材活動(随時)　③原稿の作成

委嘱期間　2年間

応募方法　応募動機と男女共同参画の推進に向けた考えを800字以内にまとめ、住所・氏名・生年月日・職業・電話番号を明記し、3月13日(金)までに熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」へ直接ご提出ください。

編集後記

特集テーマ「DV」について会議を進めていく中で、男女・夫婦・親子等、様々な人との関わりの中で生じる行為の実態に「慟哭」の思いに囚われました。そして、その思いはさらに「尊厳」という言葉に行きつきました。何でもない生活の中で相対する「人」への尊厳を保っていますか？とても難しいことです。でも、時に振り返ってみることは、誰にもできることだと思います。



〈編集員〉
秋元　留美子
冨田　桂治
柴生田　幸子
田代　嘉昭
吉田　知重子

◆募集◆

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。

★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は問いません）。

※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。

★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048-599-0011
・FAX　048-599-0012

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆インキ

■発行日　令和2年3月1日（年2回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.29は、71,500部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり5円です。